

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学6							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	1期	池田 晃一		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
臨床現場で多く見かける上腕部・肘関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の各疾患における、病態把握、診断方法、治療法を体系的に学習する。座学講義ではあるが、臨床現場での対応を充分イメージできるように様々な症例を紹介しながら講義を展開していく。							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として上腕部・肘関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の疾患を正しく理解できるようになるために、判断・治療・予後評価に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な臨床的技能と態度を身につける。						
	到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 上腕部・肘関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の原因を列挙できる。 2. 上腕部・肘関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の発生機序を聴取することができる。 3. 上腕部・肘関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の患者の整備、固定方法を理解することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
上腕部・肘部周囲の解剖学から得た知識により受傷機転や損傷箇所を理解する。配布資料を基に予習をして受講時に理解度を確認する。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 『柔道整復学・実技編 第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
使用教科書及び配布資料必携。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	90					10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上腕部の損傷(解剖と機能)			P256~P258	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第2回	上腕部の損傷(上腕骨骨幹部骨折)			P258~P262	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第3回	上腕部の損傷(神経損傷・肘周辺の解剖と機能)			P262~P266	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第4回	肘関節部の損傷(上腕骨顆上骨折)			P266~P267	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第5回	肘関節部の損傷(上腕骨顆上骨折)			P267~P271	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第6回	肘関節部の損傷(上腕骨外顆骨折)			P271~P273	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第7回	肘関節部の損傷(上腕骨内顆骨折他)			P273~P274	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第8回	肘関節部の損傷(橈骨近位端部骨折)			P275~P277	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第9回	肘関節部の損傷(肘頭骨折)			P277~P279	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院を開業し四半世紀以上、主に四肢の骨折や軟部組織損傷の症例について施術した経験から、当科目の上腕部及び肘関節損傷について講義します。							
メールアドレス							
ikeda-t@nihonisen.ac.jp							